



ほけんだより 11月

新居浜小学校
保健室



マイコプラズマ肺炎に注意

マイコプラズマという細菌が原因で起こる肺炎で、5歳ころから10~30代の若い人に多く見られます。**発熱や全身がだるくなる**などの症状が出るとともに、**せきが長く続く**のが特徴です。他の肺炎の治療に使われる抗生物質が効きにくいいため、診断が遅れると、まれに重症化したり髄膜炎や脳炎などを起こしたりすることがあります。

胸部X線写真を撮ってみると、肺炎の影が出ているので診断がつきます。

〈注意すること〉

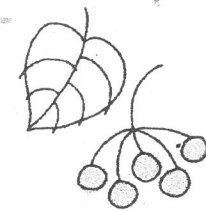
肺炎には比較的元気なため、診断が遅れることがあります。
咳が止まらない時は、マイコプラズマ肺炎を疑って医療機関を受診しましょう。
手洗いやうがいを行い、咳やくしゃみが出る時は、マスクを着用しましょう。
熱があったり強い咳が出る時は、登校を控えて家で安静に過ごしましょう。



子どもさんが高熱を出したり、咳が止まらなかつたりするなどの症状が見られた場合は、マイコプラズマ肺炎が疑われるため、早めに受診し適切な治療を受けられることをおすすめします。出席停止の指示が出ることもあります。医療機関を受診されましたら、学校に連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



冬季の感染症の流行 と予防について



徐々に冬の気配が感じられるようになりました。それとともに「少しかぜ気味かな?」といった様子のお子さんを、ちらほらと見かけます。新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・ノロウイルスによる感染性胃腸炎など、感染症の流行が心配されます。

手洗い・アルコール消毒・マスクの着用・うがい・部屋の換気などの予防法をご家庭でも行っていただき、「十分な睡眠(休養)」「栄養バランスのとれた食事」「適度な運動」で体の抵抗力・免疫力を高めることも非常に大切です(病気になりにくくなると同時に、重症化も防ぎます)。

ご家族全員で取り組んでいただくことで、予防はもちろん感染拡大防止にもつながります。学校内でも予防に取り組みますので、引き続きご協力をお願いします。



むし歯の治療を!



11月8日は、いい歯の日です。

むし歯の治療が未だの方は、受診をしましょう。

新居浜市は、小学生の歯科外来診療に係る医療費の負担金が助成されているため、むし歯の治療をするのには、とてもいいチャンスです。

歯はむし歯になると回復することはありませんので、早めに治療をお願いします。

日頃から丁寧に歯みがきを行い、大切な歯を守りましょう。